

サッカーのワールドカップ（W杯）：将来の大舞台を目指しボールを追う南アフリカ大会で、初戦を制し勢いに「なでしこ」たちがいる。4歳～小学6乗る日本代表。一方、女子日本代表も年の約55人が所属するNPO法人「ア先月末、来年6月開幕の女子W杯に6：ミティエ・スポーツクラブ」の「なでし大会連続の出場を決めた。県内にも、こサッカークラブ」を訪ねた。【南文枝】

## なでしこサッカークラブ

# 目指すはW杯



試合形式の練習に励むなでしこのメンバー  
 〓大津市御陵町の皇子山総合運動公園で

練習に励んでいる。指導するのは、全日本大学女子サッカー選手権で優勝経験がある山本真理子さん(25)。中学、高校では陸上をしてきたが、高校生の時にW杯を見て、大学でサッカーを始めた。練習では遊びを取り入れ、初心者でも楽しめるように工夫する。

皇子が丘なでしこには、現在、小学2、6年の16人が所属。鬼ごっこで相手をサイドにかわす練習や、1対1のドリブル、試合形式の練習に取り組む。ボールを追っている時の表情は真剣そのもの。一瞬のすきを突いてボールを奪い合う。

小学2年から始めた大津市立長等小6年、永田恋さん(12)は「やってみると面白かった。1対1で勝つとうれしい。中学に入っても続けたい」。同市立

坂本小6年、辻万弥さん(11)は「うまくなつてワールドカップに出場したい」と意気込む。自身も関西の女子リーグでプレーする山本さんは「シュートが決まるとうれしい。女子サッカー普及のためにも、やりたいと思えばぜひ参加して」と呼びかけている。月額6300円。問い合わせはアミティエの滋賀事務所(077・586・7521)。

神戸市に事務局があるアミティエは、07年に、大津市の皇子が丘でなでしこサッカー

クラブを開設。小学生3人ですタートしたが、徐々にメンバーが増え、現在は皇子が丘の4カ所で、週1回の

4歳から小6  
 約55人が所属  
 遊び取り入れ楽しく